

# バイオマス取組事例概要

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 日本有機資源協会会長賞)

九州

- ・応募主体 熊本宇城農業協同組合 宇土健康土づくりセンター
- ・都道府県・市町村 熊本県宇土市
- ・取組分野 堆肥化

## 取組概要

家畜排せつ物に加え、市内で発生する食品廃棄物を全面的に堆肥化

家畜排せつ物（牛ふん2202t/年）に加え、家庭生ゴミ（1155t/年）・食品スーパー等事業所の一般食品廃棄物（468t/年）・食品製造業等事業所の食品産業廃棄物（554t/年）を同時に堆肥化。宇土市内において分別収集された家庭生ゴミを全て再利用、事業所からの受け入れも含めると、市内一般廃棄物の3分の1に達する食品一般廃棄物をリサイクルし、地域の廃棄物リサイクルに大きく貢献。

一般廃棄物の受け入れは2回/週の割合で行い、処理料金は10円/tで実施。

また、堆肥化の際の水分調整については、熊本うき農協運営のカントリーエレベーターで発生する粉殻を水分調整資材として使用し、未利用バイオマスの有効利用も実施。

堆肥の需要（地域農業）と堆肥原料の搬入（流通業界、食品工業界）のバランスを考慮しながら、安全性（品質管理の徹底）、経済性（堆肥生産コストの低減）、技術性（堆肥品質向上）のさまざまな角度から検討を重ね、堆肥の成分分析、発芽試験、幼植試験等を実施し、宇城農業協同組合員の協力を得て、製品堆肥の完全利用を実現。

